

研究に関するお知らせ

気管支鏡検査におけるファイバーの選択と生検回数に関する検討

独立行政法人国立国際医療研究センター病院呼吸器内科では、以下にご説明する研究を行うことを計画しています。

この研究への参加を希望されない場合には、研究不参加とさせていただきますので、下のお問い合わせ先にお申し出ください。お申し出になられても、診療を受けるうえで不利益を被ることはございませんのでご安心ください。

■ 研究の対象となる方

2012年1月1日～2013年12月31日までに国立国際医療研究センター病院呼吸器内科を外来受診し、その期間中に悪性腫瘍を疑い気管支鏡検査を施行された方。

■ ご協力頂く内容

上記の対象患者様の診療録に記載された診療情報を研究に使用させていただきます。使用に際しては、政府が定めた倫理指針に則って個人情報厳重に保護し、

研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

患者様に新たにご負担いただくことはありません。

■ 研究の概要

2012年1月1日～2013年12月31日までに国立国際医療研究センター病院呼吸器内科にて胸部異常陰影（悪性腫瘍）を疑い、気管支鏡検査を施行された患者様の気管支鏡ファイバーの種類（BF-1T260, BF-P-260F: Olympus）と生検回数における後ろ向きの解析を行います。ファイバーの種類により正確な病理診断ができるまでの適切な生検回数を評価します。

■ お問い合わせ先

独立行政法人 国立国際医療研究センター病院 呼吸器内科 医師 石井聡

TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038